

「美術科」（Tシャツ染めを体験しよう）学習指導案

1. 日時 令和〇年〇月
2. 場所 美術室
3. 学部・学年・組 高等部 第3学年 17名
4. 単元（題材）名 「Tシャツ染め～学習発表会にむけて～」
5. 単元（題材）目標
 - ・染色の技法を知り、作業工程を理解することができる。【知識及び技能】
 - ・表したいイメージを考えることができる。【思考力、判断力、表現力等】
 - ・制作過程を振り返り、発表することができる。【思考力、判断力、表現力等】
 - ・色の基本性質を理解し、色の持つ効果について知ること、場面に応じて色使いを工夫し表現活動に取り組むことができる。【学びに向かう力、人間性等】

6. 生徒観 略

7. 教材観

小学部3段階から高等部2段階の学習をする生徒で構成されているグループだが、4月に行った事前アンケートでは、美術が好きという回答が17名中9名と比較的多く、課題に対して積極的に取り組むことができる。この単元では、特別支援学校学習指導要領中学部美術2段階の内容である、「ア 造形的な視点について理解し、材料や用具の扱い方などを身に付けるとともに、多様な表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。」「イ 造形的なよさや面白さ、美しさ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや想像したこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、自分たちの作品や美術作品などに親しみ自分の見方や感じ方を深めることができるようにする。」に重点を置いて授業を行っている。

本教材は、完成をイメージして折り方や絞り方を工夫し染色する。選択した色によって人に与える印象は大きく異なり、いつ、どこで、どのように使うのか身に付ける場面を想像して設定する。色の選択をし、染める体験を通して染め模様を味わいながら制作することの面白さを感じることを期待できる。完成後は鑑賞を通して作品についての感想等を主体的に発表し、他の生徒と感じ取ったことや考えたことを発表し合うことで、作品が持つ形や色彩などのよさや面白さ、美しさを自分なりに味わい自分の見方や感じ方を深めることができるようにする。また、自ら学習発表会で着用するTシャツとして制作し学習の教材とすることで、行事に対する意識づけや、学習に対する意欲を高めるとともに自分のデザインに親しみを持つことができることを期待できると考えた。

8. 指導観

本グループの授業では、生徒が制作する楽しみを見出すためにも自主性を大切にしたい指導を行う。その

為に、生徒の実態や状況に応じた授業展開をするために制作状況の情報を共有することで課題を明確にし、一人ひとりの課題に合わせた支援ができるようティームティーチングを活かした授業を展開することをこころがけている。また、生徒の興味・関心を引き出し、見通しを持って活動に取り組むことができるよう、生徒の実態に合った方法として、ICT機器を活用した視覚的な理解を促す教材活用を用いている。導入時には、制作過程の説明や見本をモニターで提示し、完成した作品のイメージを持たせ様々な表現や面白さを味わわせる工夫をすることで、積極的に授業に取り組める環境を整えるようにしている。制作過程で分からないことがあった場合は、近くの教員に聞く（相談）、課題が完成した際には「できました」と報告し、教師に伝えてから次の過程に移るなどの自ら状況の把握と解決に導く手段を取得することで、授業を通して卒業後に向けて人に伝えることの大切さを学び、充実した学校生活を送り卒業後の社会で生きていく力を付けていって欲しい。

9. 単元（題材）の評価規準

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
① 表したいことに合わせて材料や用具の使い方を知っている。【知】 ② 折り染め、絞り染めなど染色の技法を知り、理解することができている。 ③ 形や色の変化を感じ、表現方法を工夫し表している。【技】	① イメージを基に表したいことや表し方を考えようとしている。 ② 友だちの作品を見て、見方や感じ方を深めようとしている。 ③ 染料の特性を理解し、制作に取り組もうとしている。	① 課題に興味を持ち、積極的に取り組もうとしている。 ② 完成をイメージして身に付ける場面を考えて制作しようとしている。 ③ 友だちの発表を聞こうとしている。

10. 単元（題材）の指導と評価の計画（全9時間、本時は第7時）

次	時	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
1	1 2	「色について知ろう」 「折り染め制作①」	・暖色、寒色など色の持つ効果について知り、タブレット端末を使用し、暖色・寒色の塗分けを行う。 ・和紙を四角、三角など様々な折り方を試す。	・電子黒板やタブレット端末を用いて、クイズ形式で楽しく色について学べるようにする。 ・十分に試行錯誤できるように、材料を多めに準備する。	A①② B③ C①
	3 4	「折り染め制作②」	・前回、折った和紙を染める。	・絵の具で染める場所によって模様が異なることに気づかせる。 ・完成した作品を鑑賞する時間を設ける。	A①② B③ C①③

		「Tシャツ染めのアイデアスケッチを描こう」	・タブレット端末を使用し、アイデアスケッチを制作する。	・電子黒板を使用し、参考作品を鑑賞し、創作イメージを膨らませる。 ・生徒が主体的に取り組めるようにアイデアスケッチに参考作品を示す。	
2	5 6	「ハンカチを染めよう」	・染めの手順を学び、制作工程を理解し、制作に取り組む。	・電子黒板を使用し、制作手順を示す。 ・試作品を提示し、絞り染めのイメージができるようにする。 ・場面に応じて個別で言葉かけを行う。	A①② B③ C①③
	7	「Tシャツ染めをしよう」	・染めの手順を再確認し、制作工程を理解し制作に取り組む。	・電子黒板を使用し、制作手順を示す。 ・試作品を提示し、絞り染めのイメージができるようにする。 ・場面に応じて個別で言葉かけを行う。	A①② B①② C①③
3	8 9	まとめ	・完成したTシャツを鑑賞し感想を発表する。	・電子黒板に作品の写真を映し出し順番に発表できる場面を設定する。	A③ B② C②③

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・折り染め、絞り染めの技法を知り、制作工程を理解することができる。【知識及び技能】
- ・完成をイメージして表現したい色を選び、染色することができる。【思考力、判断力、表現力等】
- ・進んでイメージに合った教材・教具を手に取り制作を積極的に取り組むことができる。【学びに向かう力、人間性等】

(2) 本時の評価規準

- ・表したいことに合わせて材料や用具を使い制作することができる。【知識・技能】
- ・イメージと合った色を選び、積極的に表現しようとしている。【思考・判断・表現】

・進んで教材・教具を選ぶことができる。【主体的に学習に取り組む態度】

(3) 本時で扱う教材・教具

Tシャツ、輪ゴム、染色液、定着液、バット、ワイヤーネット、手袋、エプロン、試作品
電子黒板、タブレット端末、鑑賞ワークシート、バインダー

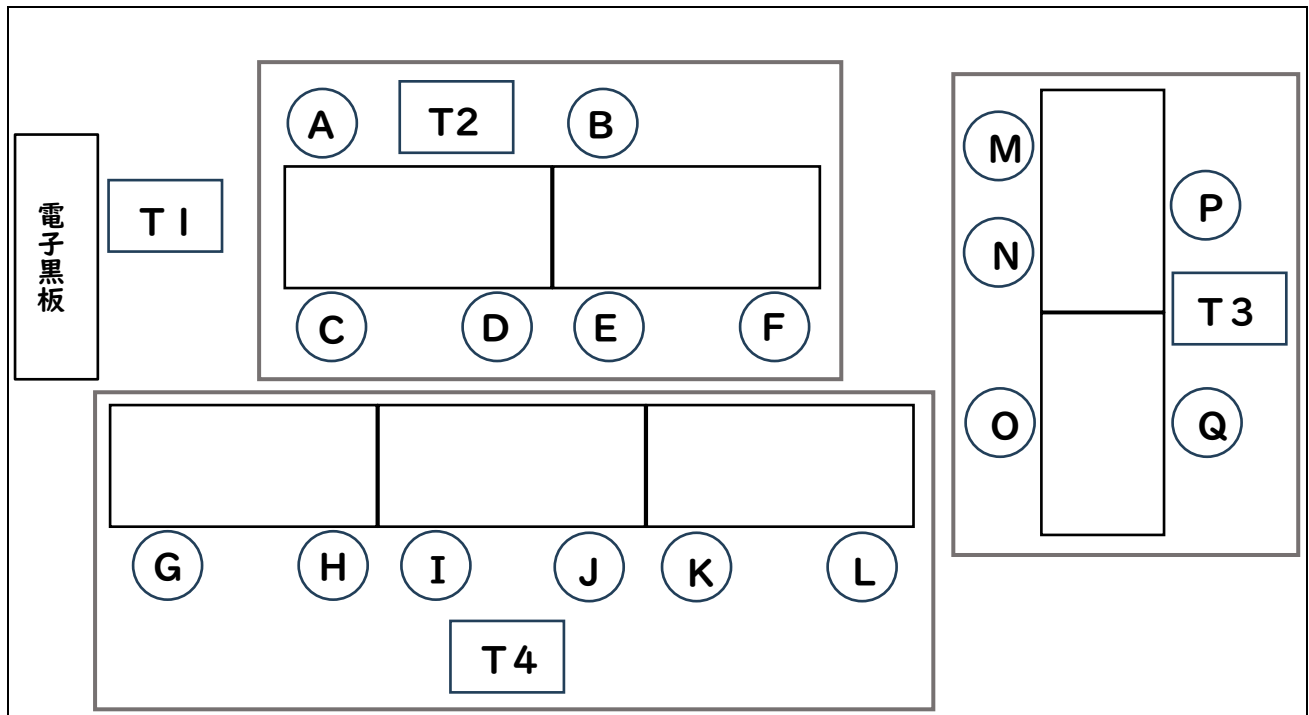
(4) 児童生徒の実態と本時の目標 略

(5) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援の手だて等	評価規準(評価方法)
5分 導入	・あいさつ ・出席確認 ・前回の振り返り ・本時の説明 ○ねらい 「完成をイメージして表現したい色を選び、染色することができる」 ○工程 ①前回の振り返り。 ②アイデアスケッチを見ながらTシャツを染色液で染める。 ③完成した作品を鑑賞する。	・日直を指名し、号令をかけるように指示を出す。(T1) ・生徒の様子から体調などを確認する。(T1、T2、T3、T4) ・前回で取り組んだ内容をモニターに掲示し、振り返ることができるような質問をする。 ・本時の予定を確認し、見通しを持って授業が行えるようにする。 ・試作品を提示し、絞り方や模様についてイメージできるようにする。 ・生徒の様子を見ながら発問し、今日取り組むことについて理解できているか確認しながら説明を進める。	・教員の方を向いてあいさつができている。 ・前回の学習内容を覚えている。
30分 展開	・Tシャツ染めの制作 各机の上に、Tシャツ、輪ゴム、手袋、染色液、定着液、バット、ネットを準備している。 ・エプロンを着用し、制作の準備に取り掛かる。 ① 袋からTシャツを取り出し、アイデアスケッチ(資料①)を見てTシャツを手順に沿って事前に決めていた色になるよう染色液で染める。 ② 片面ずつ染色液で染め、定着液をかけることを両面繰り返す。	・モニターを使用し、制作手順を示す。(T1) ・試作品を提示し、絞り染めのイメージができるようにする。 ・場面に応じて個別で言葉かけを行う。(T1、T2、T3、T4)	・イメージを基に表したいことや表し方を考えることができる。 ・表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫し制作することができる。 ・積極的に教材・教具を選び制作に取り組んでいる。

	③ 両面を染色することができたら完成した作品をビニール袋に入れる。 ・片付け ① 完成した作品は机に置く。 ② 染色液、定着液のボトルを黒板前の机に集める。 ③ バットに溜まった液は洗い場に集める。 ④ 片付けが終わった生徒から着席。 ・鑑賞準備 ① 鑑賞ワークシート（資料②）に自分の感想と友達の感想を記入する。	・区切りのついた生徒から片付けを促す。（T 1、T 2、T 3、T 4） ・手が止まっている生徒に言葉かけを行い鑑賞ワークシートへの記入を促す。（T 1、T 2、T 3、T 4） ・作品の写真を撮る（T 1）	
5分 まとめ	・本時の振り返り ・次時の説明 ・あいさつ	・本時の作品をモニターに掲示し、取り組んだ内容を振り返る。（T 1） ・生徒を指名し、作品の感想を発表できる場面を設定する。（T 1） ・次回の活動内容を伝え、見通しが持てるようにする。 ・日直に、号令をかけるように指示を出す。（T 1） ・正しい姿勢であいさつするように促す。	・友だちの作品を見て、見方や感じ方を深めることができる。 ・教員の方を向いてあいさつができています。

(6) 教室配置等（正面を上にして、生徒や教員の位置、教材・教具の配置等を示す）



※T 2、T 3、T 4 は、それぞれのエリアをベースに担当し支援を行う。

資料① アイデアスケッチ

オリジナルTシャツのアイデアスケッチ

名前 ()

①デザインは? ②どこを何色にする? ※2色以上、選んでね

ぐるぐる・くしゃくしゃ

ピンク・水色・黄色・ムラサキ・黒・緑・きみどり・オレンジ

オリジナルTシャツのアイデアスケッチ

名前 ()

①デザインは? ②どこを何色にする? ※2色以上、選んでね

しましま

ピンク・水色・黄色・ムラサキ・黒・緑・きみどり・オレンジ

資料② 鑑賞ワークシート

かんしょう 鑑賞カード

3年 組 名前 ()

感想をまとめよう

・みんなに見てほしいポイントは? (色、デザインなど)

・工夫したのは、どんなこと? (がんばったところ、考えながら制作をしたところ)

・楽しかったことは、どんなこと?

すてき! ポイント

・好きなところ (色・デザイン)

・まねしたいところ

・いいな、すごいなど思ったところ

友だちのすてき!ポイントを 見つけよう!!

友だちの名前 () さんの すてき!ポイント は、